



## 校長挨拶

久留米工業高等専門学校は、実り豊かな筑後平野を悠々と流れる筑後川と宝満川が合流するほとりに位置しています。ここ小森野の地には、今から80年以上前に、我が国の発展を担う技術者の育成を目的とした旧制久留米高等工業学校が建てられました。その後時代と共に変遷をたどり、1964年に、中学校卒業後の5年間で実践的・創造的技術者を養成する高等教育機関として制定された高等専門学校の第3期校として、本校は設立されて現在に至っています。1966年3月に全国の高専で初めて卒業生を輩出して以来、本校の卒業生は1万余名に及び、国内外において優れた創造的なエンジニア、研究者や社会人として各方面で活躍しています。

本冊子は、本校の教育や研究の方針や内容とともに、学生生活や社会との結びつきの状況など、本校が進めている様々な活動を広く一般の方々にご紹介することを目的としています。

本校は、ここに記述していますように、5年課程の本科に、機械工学、電気電子工学、制御情報工学、生物応用化学、材料システム工学の5学科を配しており、そこでは大学受験で中断されることなく、一貫した専門教育とともに人格形成に資する教養教育を行なっています。その後続く2年の専攻科では、機械・電気システム工学と物質工学の2専攻に分かれてさらに深く専門性を磨き、修了後には大学卒業と同様の学士の称号を得ることができます。専攻科では来年度から九州大学工学部と連携した教育プログラムコースを開設します。このコースを修了した者は、専攻科の修了証書の交付とともに九州大学工学部卒業証書（学士の学位記）が与えられます。



久留米工業高等専門学校  
校長 松村 晶

本校は「自立の精神と創造性に富み、広い視野と豊かな心を兼ね備えた、社会に貢献できる技術者の育成」を教育理念として掲げて、将来に夢を託すことができる優れた人材の育成に教職員あげて取り組んでいます。本科生の約6割は卒業後に就職して社会で活躍をし始めます。本校卒業生には社会の各方面から有能な人材として非常に高い期待が寄せられており、有難いことに就職志望者数の約40倍にも達する求人が各界から毎年寄せられています。残りの約4割は本校専攻科あるいは九州大学や東京工業大学等の大学3年生に進学して、さらに研鑽を積んでそれぞれの道を歩んでいきます。本校専攻科卒業生への求人倍率も例年100倍以上と極めて高く、本校の教育理念は十分に実現できているものと確信いたします。

高等専門学校は高等教育機関として、産業界や地域社会との連携・協働を密にして、そこで生じている様々な課題の科学的な解決に取り組み、それらを通して人材教育の高度化を図ることも使命としています。そのため本校は、久留米市内の大学等の5つの高等教育機関からなる「高等教育コンソーシアム久留米」や近隣の技術系企業、研究機関などが参加している「テクノネット久留米」などの連携事業に積極的に関わって、主要な役割を演ずるとともに、久留米商工会議所、日本歯車工業会、日本ゴム協会九州支部や、九州大学・工学系部局、久留米工業大学などとも個別に協定を締結して、社会から寄せられるご期待に積極的にお応えしています。

是非とも久留米工業高等専門学校の活動や動向にご注目とご関心を寄せていただき、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 新入生の抱負

## 高専生活の抱負

機械工学科 1年 西郷 勇輝

4月、私は大きな期待と少しばかりの不安を抱えながら、この久留米高専へ入学しました。5年後の自分はどうなっているのか、また、どんな素敵な仲間と出会えるのだろうかという期待。一方で、これまでとは大きく変わる新たな環境や勉強にしっかりとついていけるかという不安。入学してしばらく経ちますが、クラスメートはみんな優しく、面白い人ばかりです。このクラスに私と同じ中学校出身の人はいませんが、休み時間や移動教室、部活などでの会話を通してさっそく仲の良い友人もでき、既に不安はとて小さくなりました。そんな私は久留米高専で頑張りたいことが2つあります。

1つ目は、勉強です。高専では普通高校でも学習するような一般科目に加え、専門科目があります。特に専門的な内容については、自分だけで理解しきれないことも多くあると思いますが、先生や友人、先輩に積極的に質問し、分からないところを分からないままにしないようにするだけでなく、まずは自分でできる予習、復習にきちんと取り組んでいくことを心がけたいです。そして、5年後には立派な技術者になれるように、1年生からコツコツと頑張ります。

2つ目は、部活動です。バスケットボールが好きで、中学校からの経験もあるため入学後はさっそくバスケットボール部の見学に行きました。初めて会ったばかりの先輩達は、私達新入部員に優しく話しかけてくれたり、初日から練習に入れてくれたりしました。中学校の頃は県大会出場を目指して練習に励んでいましたが、地区大会で敗れてしまった経験があります。高専は、高校の大会と高専大会に出場できるのでそのチャンスを生かして一回でも多く勝てるように頑張ります。また、自分が優しく接してもらったことが嬉しかったので、来年はそんな先輩になりたいです。

以上は私個人の抱負ですが、最後にクラスとしての目標を述べます。それは、みんなで助け合い、明るいクラスにするということです。5年後にこのクラスでよかったと思えるように、楽しいことも大変なこともみんなで乗り越えていきたいです。これからよろしくお願いします。

## 過去と未来

電気電子工学科 1年 富田 大世

高専に入学して2ヶ月が経ちました。私はまだ1ヶ月しか経っていないように感じます。時の流れは速いですね。入学当初は静かだったクラスも、今では休み時間になるととても賑やかになります。友達とは勉強を教え合ったり、世間話や雑談をしたりして盛り上がっています。しかし、最近新型コロナウイルスのニュースがよく取り上げられていて、その影響で遠隔の授業になることもありました。気をつけていてもいつどこで感染するかわからないので、とても怖いです。それでも、クラスのみんなどは仲良くやっています。

私が中学3年生のとき、私は自分の進路を全く考えていませんでした。私は、地元の公立高校を受験しようと思っていました。しかし、親からの紹介やパンフレットを見て、久留米高専という学校を知りました。私はゲームをよくやっているの、電気、コンピュータに興味がありました。体験入学に行ってから久留米高専の魅力にどんどん惹かれました。だから私はこの学校を選びました。そして、今に至っています。

私は今、高専での生活で頑張りたいことが2つあります。1つ目は毎日勉強に取り組むことです。当たり前聞こえますが、継続することはとても難しいことです。中学生の頃の私はテスト前だけ勉強して、他の日はゲームをするという日々を過ごしていました。このような生活にならないように、毎日何でもいから勉強することが大切だと思います。2つ目は、健康第一です。お菓子を食べすぎて、お腹を壊して痛い思いをしたくないし、まともに授業を受けられなくなるからです。ストレスを貯めるのも体に害なので、運動を定期的に行うのも大切です。

私はこの作文を書くことで自分のことについて振り返ることができました。これからも楽しく高専生活を送りたいと思います。

## 新入生の抱負

雲の上は青空～陽のあふれる場所へ  
制御情報工学科1年 平井 零大

世界中が迷いと混乱の中にある今日、私たちも混乱の中で新たな世界に溶け込もうとしています。中学校までとは異なり、みんなが高専に合格できる学力をもっています。中には異色の学歴や資格を持っている人もいます。また、久留米高専は中学校や高校と比べ、非常に学生主体の学校であるということも、入学して数か月の段階ですが強く感じているところです。

そんな久留米高専で成し遂げたいことが、大きく2つあります。

1つ目は、自分が他の人よりも好きなことを見つけることです。久留米高専では、先に述べたような人々と一緒に生活をしていきます。そのため、できるだけ深い会話をしたいと思うのです。それは、個々の知識を基に対話をし、新しい知見を広げることです。その際、自分が聞く側だけに立つのはつまらないと思うのです。自分が詳しいことを話し、相手が詳しいことを聞くことで、有意義な生活を送ることができると思うのです。そのため、みんなより詳しい何かを見つけないと思っています。

2つ目は、高専で学んだことを将来にどのように活かすことができるかを見つけることです。私は将来、宇宙物理学等の研究を行いたいと思っています。研究でどのような技術が必要になるのかまだはっきりとはわかりません。プログラミングやメカトロニクス技術などは役立ちそうですが、定かではありません。しかし、高専で学ぶ専門技術は研究に活かすことができと思っています。引き続き宇宙についての疑問を持ち続けると共に様々な技術に触れ、どのように結びつけられるか考えていきたいです。

私は今、高専祭の実行委員会や、中央執行委員会に所属して活動しています。何がどのように勉強や学校生活、将来に役立つかわかりません。今しか出会えないこの世界、曲がりくねった道に行くことばかりかもしれないかもしれませんが、たくさんのみちくさをしながら、雲の上へと駆け上がっていきたいと思います。そして、青空の扉を開き、陽のあふれる場所へみんなで出かけましょう。

## 抱負

生物応用化学科1年 城戸 悠那

入学して2ヶ月が経ち、初めての定期考査も終え、私服や制服が入り交じる授業風景や、授業時間の違いにも慣れてきた。入学する前まで心配だったクラスも、クラスメイトとあっという間に打ち解け、授業中は周りの子たちと教え合い、休み時間は和気藹々とした教室で、とても充実した学校生活だと思う。

私には抱負が2つある。1つは、広い視野を持った人になりたいということだ。高専に入るなら色々な事を体験してみたいと考えていたので、委員会や部活に参加し、次々に新しいことに取り組み始め、中学校までは体験できなかったような新鮮な毎日を送っている。私が現在参加する2つの委員会では、先輩方は、生徒が主体となって学校行事を行うという方針の中で、沢山の意見を取り入れ、かつ色々な可能性を視野に入れて、行事を良いものにしようとされていた。自由な校風だからこそ出来ることが多くあり、そのような場で活躍されている姿に尊敬の念を抱き、私もそうなりたと思った。

2つ目は、何事にも好奇心を持って取り組むということだ。授業時間が90分になった事で、私は自分に集中力が無いことを自覚した。話を聞いていても、耳を右から左に抜けてしまい、授業後にノートを見て内容を理解するということが増え、頭に入ってこないということが、今の私の課題である。しかし、教科の中には勉強することが楽しく、授業に集中して取り組める教科がある。私は、その授業を受けている時の自分が、もっと沢山のことを知りたい、という心持ちでいることに気づいた。そこから、知識を得る上で大切なことは、「心から意欲的に知ろうとする気持ち」だと思ったのだ。だから、自分の興味のある分野は言うまでもなく、関心があまりない教科でも、学ぶことに楽しさを見つけて勉強していきたい。

これからの5年間の学習の場で、最終目標である「社会に貢献できる技術者」になれる様、意識して勉強し、日々を積み重ねて、描いた将来像に着実にたどり着けるよう、努力していきたい。



## 新入生の抱負

## 喜怒哀楽

材料システム工学科1年 河北 琴音

高専に入学して早2か月が経過した。この短い期間で私は、高専生活を充実させるために2つのことが重要だと考えるようになった。

まず1つ目は自分から挑戦することだ。高専に入学することができたのに授業をただ受けるだけで高専生活を過ごすことは非常にもったいない。私の生活も行動を起こさなければ、何も生み出さないのだ。そのため、早速私はやってみたいと考えたものに挑戦し、実行委員会の一員となり部活動にも入部した。これら2つはより高専生活を印象深く残らせるために大切である。そしてこれからもあらゆる行事などにも挑戦していきたい。

2つ目は、クラスの中が平和であることだ。もしあなたがある学科の1人で、特に仲のいい友達で集団を作っていたとする。その雰囲気は賑やかで楽しいと感じられる。しかし教室内で見ると仲が険悪だったらどうだろうか。あなたは心から高専生活を楽しめるだろうか。私であったらこう答える。「NO」だと。私は思い切って高専生活を送ることができない。教室内の空気が重ければ、誰もが教室という空間を嫌うだろう。私はそんな空気を作り出したくない。だから普段仲良くしている人だけではなく、クラスの中のいろいろな人と関わりたい。できれば他学科の学生や先輩と交流したい。そして自分の視野を広げていき、1つの事柄を様々な角度から見るができる人になりたいと思う。また、コミュニケーション能力を高め、あらゆる場面、そしてどのタイミングでも柔軟な対応ができるようになりたい。

以上、2つのことを大切にすることによって、これからの人生を過ごす中で、高専で学べたことに幸せを噛みしめることができる5年間にしたい。



## 私の高専生活

機械・電気システム工学専攻1年 江口 卓郎

私の高専生活も早五年、本科では五年間ラグビーを通して組織を学び、寮生活では集団行動を学び、学校生活では学問は勿論のこと、自分とは何かを学ぶことができました。ここで自分とは何かを学ぶとは「他人の行動を見たり、他人との共同作業行ったり、何かしら時間の共有をしていく中で自分を俯瞰的に見て、普段の振る舞いや思考を変更すること」としています。

私は、久留米高専はその「自分とは何かを学ぶ」力を養いやすい環境であると思います。他高専と比べて、ここ久留米高専は自由を重んじていると言われており、学校生活では比較的自由な時間を多く確保することができます。その時間を使って各生徒が本当にやりたいことができるので、久留米高専は個性豊かな人が沢山いるという印象を持っています。そういった環境は、自分と思考が異なる人とのコミュニケーションを促進させることができ、刺激的な日々を送っていく中で、自分が成長しているという実感できると思います。また、専門学校ということもあって、各個人は似たような趣味を持っている人が多いので、そういったコミュニティの多さも久留米高専の特徴だと感じています。

専攻科に入ってもその環境は変わっておらず、自分にとって有意義な時間を過ごしています。何か目標を持って取り組んでいく中で、近くに同じような目標に取り組んでいる人、または既に似たような目標を達成した人が存在する確率が高く、その人との対話を通して、より目標達成に近づくことができます。

ここ数年はパンデミックにより他者と接する機会が減少し、閉鎖的な空間が多くなっているように感じています。そのような空間の中では空間内の情報以上を得ることはできないため、自分の思考や視野を広げるためには、各個人が積極的に様々な空間へ行くことが求められていると思います。従って、私は、専攻科では今まで以上に俯瞰的な立場に立って、他者との関りを意識しながら高専生活を送っていこうと思います。

## 新入生の抱負

## 明日やろうは馬鹿野郎

物質工学専攻1年 野崎 磨央

専攻科での抱負は「時間を大事にすること」、「こだわりを持つこと」です。

卒業後、本科五年間を振り返った際に、後悔ばかりが思い出されます。その中でも一番の後悔は学習に対して熱心にならなかったことです。

そこで、学習に熱心になれなかったことについての原因を考えてみると、一つ目、「間に合うことで精一杯な登校時間」、「期限にギリギリな提出物」などの最低限のラインで行動することになりました。すると、「ギリギリで取り組む⇒時間的な余裕がなくなる⇒授業中の学習や自己学習の質の低下⇒テスト勉強のタイムマネジメントが非効率化」と言った負のサイクルが生じてしまい、単位修得がその場凌ぎになっていました。その結果、発展的な内容に取り組む際、理解が及ばないことが頻繁にあります。そこで、専攻科では時間の使い方を改善していきたいです。当たり前のことですが、「朝余裕を持った時間に起床・登校すること」、「課題をギリギリになって取り組まないこと」を実行していきたいです。

二つ目、私は何に対しても最初から否定し諦めてしまう性質があります。例えば、席次上位や高得点を意識した際に、一科目のテスト勉強が思ったように進まないだけで、「どうせやっても」とすぐ開き直り、すべてを諦めていました。「次頑張れば良い」と言うようにならず、何をするにしても困難があったときに自分に良いような理由を見つけて、その困難を避け、諦めてしまうのです。その点を改善するため、専攻科では「(何かしらを達成することに対して) こだわりを持つこと」をもう一つの抱負とし、すぐに諦める姿勢を改善していきたいです。

最後に、実際に二ヶ月間専攻科生活を送ってみて、勉強でのわからない内容や様々な相談に対して、同級生や先生方が向き合ってくれて話をしてくださる事で、今この二つの抱負通りに頑張れていると思います。同時に、周囲の方々にとっても恵まれていると深く実感しています。

この環境の中、人間として成長できる二年間にしたいです。

## 本科1年生クラス担任紹介

## 1Aのみなさんへ

機械工学科1年担任 一般科目(文科系)助教 常木 佳奈



『ちびまるこちゃん』の作者である、故・さくらももこさんはエッセイ漫画『ほのぼの劇場』(第1巻)のなかで「やりたい事がやれない時期は本当の夢が見つけれられる絶好のチャンスです やりたい事がなんでもやれる時がくると人は社会の流れや手頃な娯楽にごまかされてなかなか夢が見えにくくなるから…」と述べています。高専という進路選択をしたみなさんにはすでに「夢」があるかもしれませんが、その夢のために何らかの行動ができていますか。「手頃な娯楽」に時間を費やしていませんか。そろそろ高専生活にも馴染んできた頃でしょうが、今一度、自分の夢を思い出し、5年間の過ごし方について考えてみてください。

## せめて「愚者」に

電気電子工学科1年担任 一般科目(理科系)准教授 三木 弘史



「賢者は歴史に学び愚者は経験に学ぶ」(ビスマルク)ということばがあります。その真意はともかく、ことば通りに受けとると、現実には「愚者になること」さえなかなか難しいと感じます。自分自身の反省も含め、たいていは「愚者未満」、歴史からも経験からもなにも学ぶことをしない、あるいはできないのです。賢者になるのはさきわめて難しいことですが、せめて経験から学ぶ愚者にはなりましょう。ひとつひとつの経験からなにかを学ぶこと。それはある特定の、短期的な目的を達するためには非効率で迂遠かもしれませんが、今後生きてゆくときの人としての幅やゆたかさにつながるものではないかと思っています。

## 必要ない、と決めないで！

制御情報工学科1年担任 一般科目(文科系)教授 徳永 美紀



私は高校の頃から英語が大好きで、得意でした。逆に数学は苦手で、自分の将来には必要ないと思っていました。しかし、教員・研究者となり、どちらの仕事でも数学(特に統計学)はとても重要です。低学年の間は、私が担当する英語も含め、あまり重要でないと感じる科目が多いかもしれません。しかし、将来実際に何が必要になるかはわからないものです。部活や行事についても同じ事が言えます。しなければならぬ事だけを受動的に行って過ごすか、色々な事に積極的に挑戦するかで、5年間で得られる物は大きく違ってくるでしょう。皆さんにとっての「高専生時代」が有意義なものになる事を応援していきたいと思っています。

## 本科1年生クラス担任紹介

### Treasure



英語を担当しています。今年度赴任4年目になります。それまでは佐賀県と福岡県の高専・中学校に長く勤めていました。元々は小学校の先生になりたくて大学の教育学部に入りました。今でも教育の原点は小学校にあると考えています。これまで図らずも様々な校種を経験することとなってきました。私の宝は、学校教育現場の元同僚や卒業生たち、そして一緒に過ごした様々な苦労や喜びの日々です。現在の日々も、いつかそのように宝だと言える日が来ることを願って過ごしています。皆さんはこの青春時代の貴重な5年間を高専で過ごすこととなりますが、将来振り返った時に、宝だと言えるような仲間や学び、経験を持てるよう過ごしていきましょう。

生物応用化学科1年担任 一般科目(文科系) 准教授 徳永 正尚

### 将来の技術者を目指して



化学を担当している宮本と申します。入学式当日に担当クラスから、新型コロナ陽性者が出たことから始まり、当初クラス全員がなかなか揃いませんでした。今も、体調不良者が出れば、新型コロナ陽性者ではないかと心配するばかりです。そのような状況の中でも、クラス全員の進級を目指して、普段からの勉強を習慣化していただければと思います。一方、クラスマッチでは、長縄が2位、バスケットボールが3位、バレーボールが4位と健闘してくれてうれしいばかりです。若いうちに日々少しずつ色々な経験を積み重ねて、将来の日本を背負って立つ技術者として育てていってくださることを期待しています。どうぞよろしくお願い致します。

材料システム工学科1年担任 一般科目(理科系) 教授 宮本 久一

## 新任教職員紹介



### 福嶋 洋

- 所属 一般科目(文科系)
- 職名 准教授
- 採用日 令和4年4月1日
- 前職 福岡大学 スポーツ科学部 助教

**抱負:** 体育教員として着任しました福嶋洋です。私は高校卒業と同時にプロサッカー選手になり11年間の競技生活をおくりました。競技者を引退した後に大学、大学院と進み教員としての道を歩んでいます。私が体育教員として高専の学生に習得してもらいたい能力は「自身の健康を自身でマネジメントする力」です。健康には体の健康だけでなく心の健康も含まれます。これまで多くの研究で、運動を適度に行うことで心身に良い影響を及ぼすことが分かっています。これまで2か月ほど久留米高専の学生さんと接してきましたが優秀な学生が多いなという印象を持っています。そのような学生が社会に出て活躍するうえで根幹を支える健康な体を自身でマネジメントする力を習得できるようにサポートしていきたいと思えます。

**趣味:** 人と話すこと、美味しいものを食べること、娘と遊ぶこと



### 小山 暁

- 所属 一般科目(理科系)
- 職名 准教授
- 採用日 令和4年4月1日
- 前職 豊田工業高等専門学校  
一般学科 准教授(物理)

**抱負:** 豊田高専から人事交流でまいりました。今年度は3年生の応用物理実験と4年生のリベラルアーツ特論を担当しています。授業を通して、学生の皆さんの興味を引く話題を提供してゆきたいと考えています。前任校では、主に、低学年の物理、物理実験の授業を担当していました。経験を活かし、高学年での専門分野へつなげる教育をしたいと考えています。また、寮務主事補を3年、寮監を2年、低学年の担任を9年しました。そのため、久留米高専で、学生の皆さんの生活がどのように営まれているか、興味津々です。2018年度に米国で客員研究員に就きました。その経験を学生の皆さんへ伝え、教職員の方々と共有し、国際的視野を持った技術者の育成を行いたいと考えます。それと、物理の問題で困ったら、専攻科棟3階の教員室へ聞きに来てください。どうぞよろしくお願ひいたします。

**趣味:** ギター、スキー、スノーボード、お料理、犬の散歩、神社巡りなどなどです。コロナ禍で外に出られないので、Youtubeに助けられています。お料理チャンネルを見ながら料理を作るのですが、3回に1回は失敗します。それと、学生時代にもやもやしたまま通り過ぎた、数学や物理を考えるのが好きです。



## 新任教職員紹介



## 山本 啓

- 所属 事務部
- 職名 総務課長補佐（財務担当）
- 採用日 令和4年4月1日
- 前職 九州大学筑紫地区事務部  
会計課経理係長

**抱負：** 4月に九州大学より転任して参りました山本と申します。高専での仕事は初めてですので色々と至らぬ点ではありますが、今までの経験を活かしつつ、本校の発展に寄与できるよう精進して参ります。一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。

**趣味：** 旅行



## 山口 智子

- 所属 事務部
- 職名 総務課人事・労務係主任
- 採用日 令和4年4月1日
- 前職 有明工業高等専門学校  
総務課総務企画係

**抱負：** 4月にお隣の有明高専から配置換（転入）となりました。外部機関に異動するのは初めてで、また、引っ越しもして環境が変わり不安なこともありましたが、先生方や周りの職員の方が親切に接してくださるので、とてもありがたく思っております。総務課に配属されましたので、学生さんと接する機会は少ないですが、とても優秀とお聞きしております。学生たちの活躍を直接拝見するのが楽しみです。

有明高専での経験を活かし、学生や教職員の皆様のお役に立てるよう、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

**趣味：** 観劇（劇団四季のミュージカルが好きです！）  
映画鑑賞



## 小野 美織

- 所属 事務部
- 職名 総務課一般職員（研究推進係）
- 採用日 令和4年4月1日

**抱負：** 4月に研究推進係へ配属となりました小野と申します。今年の3月までは大学生として勉学に励んでおりました。社会人としての第一歩を久留米高専で迎えることができ、大変嬉しく思っています。業務としては、科研費や公開講座を主に行っていきます。不慣れな点もあり、皆様にご迷惑をおかけすることもあると思いますが、学生として学んできた考えや視点を忘れることなく、業務にも活かせるよう模索してまいります。

一日でも早く久留米高専のさらなる発展に貢献したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

**趣味：** 絵を描くこと  
読書



## 下井 悠汰

- 所属 事務部
- 職名 総務課一般職員（用度係）
- 採用日 令和4年4月1日
- 前職 刑務官

**抱負：** 本年4月に拝命しました下井と申します。用度係配属となり、物品の調達及び学校内の備品の管理を主に担当しています。商品の購入依頼が来て、その依頼をもとに予算を執行するのがメインの仕事なのですが、私のこれまでの人生では関わる事がなかった単語が次々と押し寄せる（特に電子パーツや化学薬品名など）ため、先生や学生の皆様はこれを理解されているのか、...と畏敬の念を抱きつつ、負けじと業務の習得に励んでおります。抱負として、「まずはやってみる」をモットーに何事にも積極的  
にチャレンジしていく所存です。まだまだ若輩者のため、行き届かない点もあるかと存じますが、御指導御鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

**趣味：** 食べ歩き（特にラーメン）  
YouTube視聴（生き物系、車系）  
旅行



## 森山 繁吉

- 所属 事務部
- 職名 学生課一般職員（学生生活支援係）
- 採用日 令和4年4月1日
- 前職 JA筑紫（窓口→渉外）  
㈱ナフコ（システム保守・運用担当）  
㈱Shift（デバッグ担当）

**抱負：** 4月から採用となり、学生生活支援係に配属になりました森山 繁吉（もりやま しげよし）と申します。生まれてすぐの頃から「しげきち」とよく間違えられます。語感が良い方でお呼びください。

前職は営業・保守・デバッカーと統一感がありませんが、その分活かせる経験も様々な場所に散らばっていると思いますので、活かそうなところを少しずつ探していこうと思います。

とはいえ、学校での仕事は全くわからないことだらけですので、これから皆様のお力を借りながら成長していきたいと思っております。様々ご迷惑をおかけすると思っておりますが、ご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願ひいたします。

**趣味：** 野球観戦（全球団だいたいわかります）  
旅行兼歴史探訪（生涯目標：日本百名城制覇）  
読書（歴史ものが多いです。最近ライトノベルに手を出し始めました）  
アニメ鑑賞



## 工藤 彩子

- 所属 事務部
- 職名 学生課非常勤職員（教務係）
- 採用日 令和4年4月1日

**抱負：** 4月に学生課教務係へ採用されました事務補佐員の工藤と申します。業務に不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、早く業務を覚えて、皆様のお役に立てるように頑張ってみます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

**趣味：** 映画鑑賞

## 本校の取組

## モノづくりって楽しい！～久留米発理工系女子の萌芽支援プロジェクト～

本校では令和2年度から令和3年度にかけて、「モノづくりって楽しい！～久留米発理工系女子の萌芽支援プロジェクト～」と題し、文系と理系の進路の選択が決まっていない女子中学生をターゲットに、理工系への関心を促すプログラムを実施しました。

本プログラムでは、理工学を身近に感じてもらう本校女子学生の中学校派遣と本校教員による中学校での出前授業、モノづくりの楽しさを体験する女子中学生限定の公開講座、理工学への関心を高める本校女子学生と女子中学生との座談会、理工系分野でのキャリア形成を学ぶ理工系出身の女性パネリストによる女子中学生向けシンポジウムの5つの企画を開催しました。



【本校女子学生の中学校派遣】



【本校教員による中学校での出前授業】



【女子中学生限定公開講座】



【本校女子学生と女子中学生との座談会】



【女子中学生向けシンポジウム】